

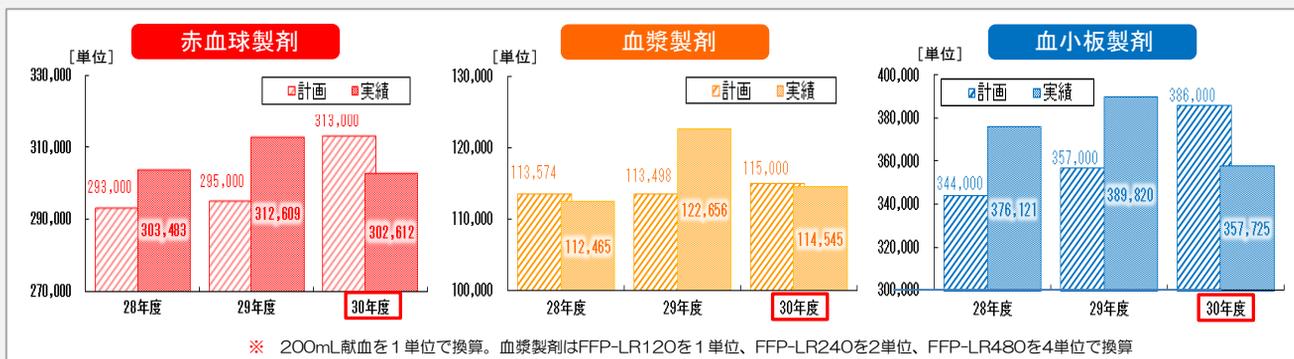
千葉県のご供給・献血状況

平成30年度の概要

千葉県では、平成29年度まで輸血用血液製剤の需要が高い状況が続いておりましたが、平成30年度は落ち着いた状況となり、延べ **774,882 単位** (対前年度比95.2%) を県内医療機関にお届けしました。この需要に対応するため、県内6カ所の献血ルームと10台の献血バスで延べ **218,262 名** (対前年度比95.0%) の皆さまに献血のご協力をいただきました。特に、医療機関からの要請が高い400mL献血や成分献血を中心としたご協力が 安定的な供給に繋がったほか、西日本豪雨等の災害時には、関東甲信越ブロック血液センターをつうじて輸血用血液製剤の支援を実施しました。

年齢別の献血状況は、10代～40代の各年代で減少しており、安全な血液製剤を安定的に医療機関へお届けするため、これからの献血を支える若年層の方々をはじめ、より多くの皆さまの献血へのご協力が必要とされています。

輸血用血液製剤供給状況 (過去3年間の状況)



大幅な需要増加を見込んだ平成30年度計画値を下回り、各製剤とも落ち着いた状況となりました。

献血状況および輸血用血液製剤製造数と供給数の状況

区分	献血状況 [人]		
	平成30年度 目標数	実績数 (対計画比[%])	対前年度 実績増減数
400mL献血	159,349	152,687 (95.8%)	▲ 1,740
200mL献血	6,688	7,086 (106.0%)	206
血漿成分献血	40,343	37,436 (92.8%)	2,605
血小板成分献血	23,356	21,053 (90.1%)	▲ 2,682
合計	229,736	218,262 (95.0%)	▲ 1,611

区分	製造数と供給数の状況 [単位]		
	平成30年度 製造単位数 ①	平成30年度 供給単位数 ②	製造単位数と 供給単位数の差 ①-②
赤血球製剤(400mL献血由来)	295,570	295,910	▲ 340
赤血球製剤(200mL献血由来)	6,864	6,702	162
血漿製剤	143,092	114,545	28,547
血小板製剤	356,199	357,725	▲ 1,526
合計	801,725	774,882	26,843

医療機関需要の高い400mL献血および血小板成分献血とともに、近年需要が増加している血漿分画製剤用の血漿成分献血にご協力を頂きました。

県内医療機関の需要に見合うご協力を頂きました。なお、血小板成分献血(平日)や血漿分画製剤用の血漿成分献血は、更なるご協力を必要としています。

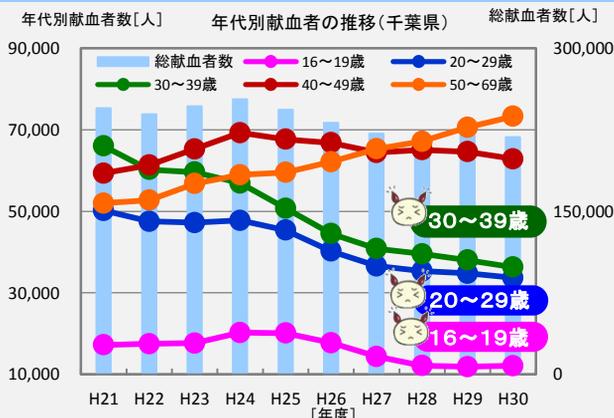
年代別献血状況

千葉県では、若年層(10代～30代)の献血者数が10年前に比べて38.5%減少しました。今後の献血基盤となる若年層にご協力をお願いするため、大学・専門学校・高等学校等における献血実施、献血セミナーの開催、千葉県学生献血推進協議会メンバーによる同世代への献血啓発、献血ルームにおける職場体験やキャンペーンなどを通じて、献血の普及啓発を実施して参ります。

若年層(10代～30代)の献血者数

H21年度 133,441人 → H30年度 82,097人

10年で約38.5%減少



平成31年度供給計画・献血目標

千葉県は平成31年度の供給計画数は、近年の県内医療機関の輸血用血液製剤の需要動向、輸血用血液製剤の供給予測数及び血漿分画製剤の製造に必要な原料血漿の当血液センター確保制当量を基本として策定しました。

献血目標数は医療機関から需要の高い400mL献血、高単位血小板成分献血(分割血小板)および分画製剤製造用血漿成分献血に重点を置いており、これらの策定値は平成31年1月24日に開催された千葉県献血推進協議会において供給計画数780,000単位、献血目標226,664人と決定しました。

区分	平成31年度供給計画 [単位]			
	平成31年度 計画数	平成30年度 計画数	増減	増減比(%)
全血製剤	0	0	0	-
赤血球製剤	304,000	313,000	▲ 9,000	97.1%
血漿製剤	110,000	115,000	▲ 5,000	95.7%
血小板製剤	366,000	386,000	▲ 20,000	94.8%
合計	780,000	814,000	▲ 34,000	95.8%

区分	平成31年度献血目標 [人]			
	平成31年度 目標数	平成30年度 目標数	増減	増減比(%)
400mL献血	154,254	159,349	▲ 5,095	96.8%
200mL献血	4,801	6,688	▲ 1,887	71.8%
血漿成分献血	45,634	40,343	▲ 5,291	113.1%
血小板成分献血	21,975	23,356	▲ 1,381	94.1%
合計	226,664	229,736	▲ 3,072	98.7%

大幅な需要増加を見込んだ平成30年度供給計画値に対して、平成31年度計画は、減少しています。

近年、血漿分画製剤の需要が高まっていることから、血漿成分献血目標数が増加しています。

献血の輪が広がりますように

輸血用血液の多くは「がん」や「白血病」などの病気の患者さんの治療に使用しております。命の危険と隣り合わせの治療の過程で、患者さんが安心して輸血医療を受けられるよう、より多くの皆さまのご協力よろしくお願いいたします。

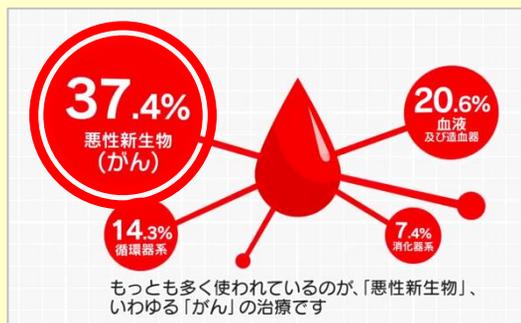
Q. いつも献血のお願いをしているのは、なぜ？

A. 病気の治療では、1度で数人分の血液を使用したり、定期的な輸血が行われることから、1人の患者さんの命を何人もの献血者で支えています。

一方、1人の方から短期間に何度も献血にご協力いただくことはできないため、血液センターはいつも献血のお願いをしています。また、輸血用血液には有効期間(※)があり、長期保存が出来ないことから、継続的なご協力をお願いしています。

※ 血液製剤有効期間

【赤血球製剤】 採血後21日間 【血小板製剤】 採血後4日間



出典：東京都福祉保健局(2016年)調べ

輸血治療を経験された方から寄せられたメッセージをご紹介します

特設サイト「M+ station」より

相互援助 (ペンネーム：ランタナさん)

20年前に急性骨髄性白血病を発症し5か月入院しました。治療の間は成分輸血が欠かせずまさしく命の綱でした。

これも献血をしてくださる方々のお蔭です。幸い現在も元気に過ごせていますが人は人に生かされていると感謝しています。

命を繋ぐ (ペンネーム：れもねーどさん)

25年前、たったひとりの娘を出産したときに私は危篤状態に陥ったそうです。1リットル以上も血をいただきました。輸血をしたおかげで生きていられています。そのときに産まれた娘も無事に産まれてきてくれました。私だけではなく娘をも救って頂き感謝しています。私にとって輸血とは【命を繋ぐ宝物、誰にでもそれをうけられる宝物】だと思います。

献血ルームのご案内

柏 献血ルーム (柏駅東口樺本ビル5階) Tel 04-7167-8050 	松戸献血ルーム Pure (松戸駅西口松戸ビル1階) Tel 047-703-1006 	献血ルーム フェイス (船橋駅南口フェイスビル7階) Tel 047-460-0521 	津田沼献血ルーム (津田沼/バルコB館6階) Tel 047-493-0322 	モノレールちば駅献血ルーム (モノレール千葉駅構内) (千葉県市モノレール千葉駅構内) Tel 043-224-0332 	運転免許センター献血ルーム (千葉運転免許センター内) (千葉市市モノレール千葉駅構内) Tel 043-276-3641
--	--	--	--	--	---

献血ルーム 受付時間
 ●成分受付▶ 10:00~12:00/14:00~17:00
 ●400mL(200mL)受付▶ 10:00~13:00/14:00~17:30
 ●定休日▶ 年末年始

運転免許センター 献血ルーム 受付時間
 ●400mL(200mL)受付▶ 9:00~13:00/14:00~16:30(日曜日は16時10分迄です。)
 ●定休日▶ 土曜日・祝日・年末年始
 ※運転免許センター献血ルーム(千葉市)では成分献血の受入は行っていません。